

富士川町

第53号

令和5年(2023年)7月25日発行



議会だより



家族の笑顔が
やさしいね



6月の定例会

- 定例会で決まったこと 2P
- 町民と議員との懇談会を開催 4P
- 7人が町の課題を問う 7P

富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会



6月定例会 で決まったこと

令和5年第2回定例会は、6月9日から16日まで8日間の会期で開催され、報告案4件、承認案12件、条例改正案2件、補正予算案5件、人事案3件を全会一致で承認・可決・同意した。



町民の生活支援と地域の消費喚起に！
スマイル商品券(第2弾追加分)を配布！

● 一般会計補正予算 1億7,984万円

● 補正後の予算総額 82億1,727万円

おもな一般会計補正予算

◆ 自転車ヘルメット購入補助事業	10万円
◆ コミュニティ助成事業	1,500万円
◆ 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金事業	4,802万円
◆ 峡南地域観光振興事業	208万円
◆ 町観光物産協会補助事業	275万円
◆ ふじかわスマイル商品券(第2弾追加分)事業	6,336万円
◆ 地区公民館改築改修補助事業	1,422万円
◆ 地域コミュニティ施設整備費貸付金	3,000万円



ふじかわスマイル商品券
(第2弾追加分)



価格高騰重点支援給付金事業



貸付金補助事業(天神中條地区公民館)

人事 (敬称略)

● 教育委員会委員

新任 長澤 美和(天神中條区)

● カラマツオ外三十山恩賜林保護財産区管理会委員

新任 堀口 広秋(鳥屋町)

新任 望月 佳利(柳川町)

条例改正 2 議案を可決した

条例改正

地方活力向上地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

沖縄振興特別措置法第9条等の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令等の一部を改正する省令の施行に伴い改正

・第1条(趣旨)

地方再生法に基づく省令:延長(令和6年3月31日まで)

・第2条(固定資産税の特別措置)

適用要件:整備計画の認定から対象設備の供用開始までの期限を3年(現行:2年)に延長

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部改正

3歳未満児に係る利用者負担額の範囲を明確にするため条例を改正

・町内・町外の保育施設を利用する、富士川町に住所がある3歳未満児の子どもの保育料は無料(令和5年4月から)、副食費は引き続き保護者の負担



3歳未満児の利用者負担額を明確化

質疑

主な質問を掲載

報告

一般社団法人ふじかわ(はくばく文化ホール)の経営状況

問 指定管理料が昨年度より増えている理由は。

答 コロナ禍で事業が出来なかったが、今年度はコロナ禍前と同規模の事業を計画しているためである。

株式会社富士川(道の駅)の経営状況

問 道の駅の営業時間については検討されているのか。

答 時間延長については運営全体に影響する。時間別損益計算書を作成し取締役会に諮り検討する。

補正予算

問 自転車用ヘルメットの補助金及び申請の手順は。

答 申請が予算を超えた場合、

直近の議会で補正予算を計上する。購入前に申請書を提出、交付決定後に購入し、実績報告後に支払われる。



購入費補助が始まった自転車用ヘルメット

問 町観光物産協会に、信玄公祭り参加分の計上があるが。

答 海外、県外の参加者を募り、参加者が発信するSNSを利用して、町のPRをしよう。

問 スマイル商品券の配布にこだわる必要があるのか。

答 町民が幅広く恩恵を受けられなければならない、公平に配布できる商品券がベストである。

問 DMO(観光地域づくり法人)を株式会社にした経緯は。

答 観光により地域の稼ぐ力を引き出し、観光地域づくりを実現するためには株式会社が見込み。

開かれた議会・信頼される議会を目指して

町民と議員との懇談会

を開催!

富士川町議会では、開かれた議会・信頼される議会を目指して、議会改革を行っています。その活動の一環として、富士川町のより良い“まちづくり”を、町民の皆さまとともに協働で進めていくことを目指し、議会の活動をより広く町民の皆さまに知っていただくこと、さらに町政に対する、さまざまなご意見をお聞きする場として、「町民と議員との懇談会」を開催いたしました。ご参加いただいた皆様に、心から感謝いたします。

開催日

- 5月13日(土)午後2時～ 役場 1階会議室
- 5月20日(土)午後2時～ かじかざわ児童センター

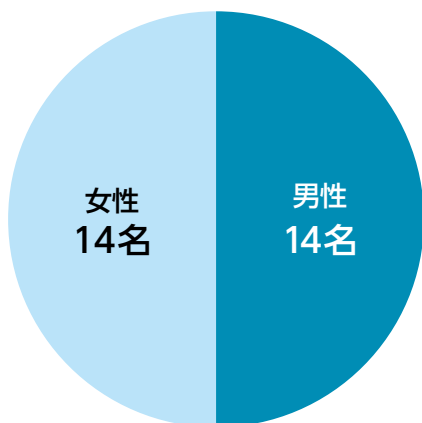


2日間で37名の皆さまにご参加いただきました。皆さまからいただきました質問内容は、別紙において全て掲載いたします。ここでは、当日、28名の方にアンケートにご協力いただきました解答をまとめ、ご報告いたします。

5月20日(土)
かじかざわ児童センターで開催

アンケート結果

1. 参加者の性別

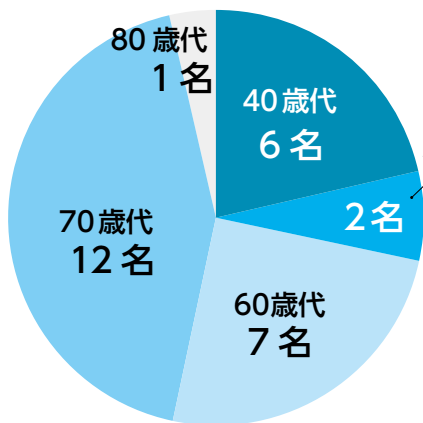


- ①男性 14名
- ②女性 14名

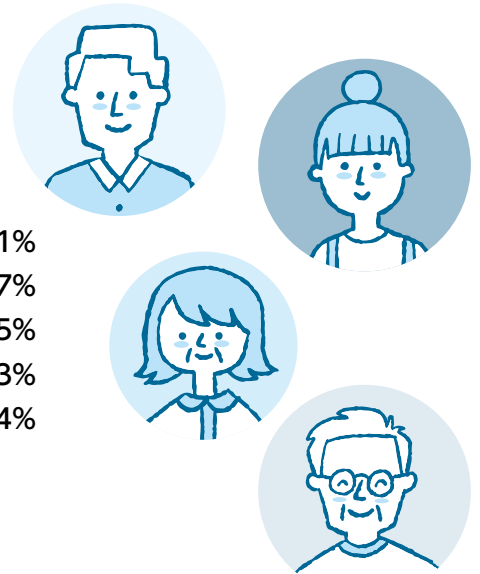


5月13日(土) 役場会議室で開催

2. 参加者の年齢

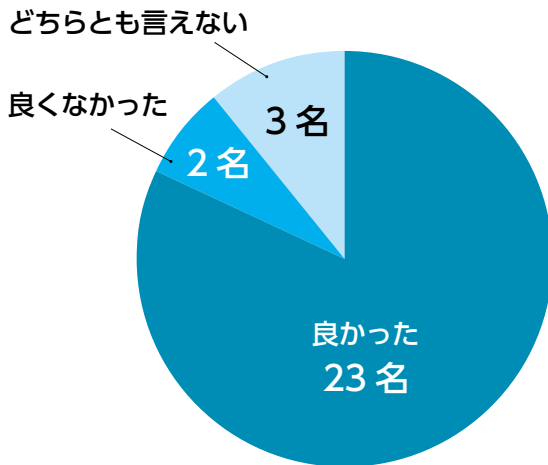


① 20歳代	0名	
② 30歳代	0名	
③ 40歳代	6名	21%
④ 50歳代	2名	7%
⑤ 60歳代	7名	25%
⑥ 70歳代	12名	43%
⑦ 80歳代	1名	4%



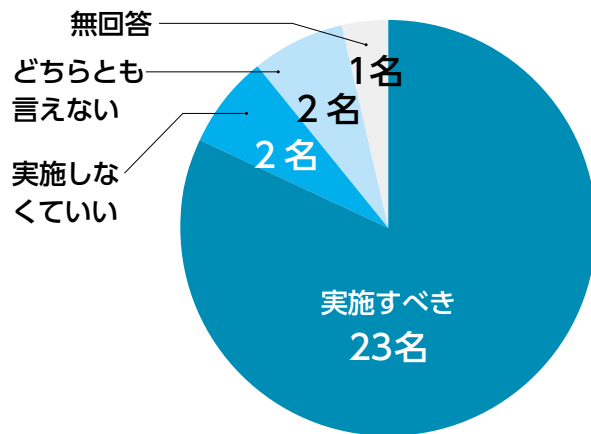
3. 懇談会に参加して良かったか？

① 良かった	23名	82%
② 良くなかった	2名	7%
③ どちらとも言えない	3名	11%



4. 今後も懇談会を実施した方が良くとおもいますか？

① 実施すべき	23名	82%
② 実施しなくていい	2名	7%
③ どちらとも言えない	2名	7%
④ 無回答	1名	4%



ご意見・ご提言

- 情報公開を徹底的にしてほしい。
- 議会だよりの質問内容と回答をもう少し詳細に記載してほしい。
- 前日と当日に防災放送で、懇談会開催のお知らせをすれば良かったと思う。
- 広い意見をすい上げる場をつくってほしい。
- 中学校の制服など、いろいろな所の良いところを集めて、子どもたちのための中学校をつくってほしい。中学校の統合の会合に、代表者だけでなく、傍聴でき意見を伝えられる会議にしてほしい。
- 税金の使い方について、今まで以上に厳しいチェックを。

令和5年 第2回 臨時会

第2回臨時会を4月26日開催し、補正予算案1件、契約締結案2件を審議し原案のとおり可決した。

一般会計補正予算 1,229 万円 補正後の予算総額80億 3,744万円

一般会計補正予算

- 低所得子育て世帯生活支援特別給付事業費 1,229 万円

契約締結

- 富士川町旧庁舎他アスベスト含有吹付材除去工事請負変更契約

金額の変更	変更前	金 5,775 万円
	変更後	金 6,687 万円
工期の変更	変更前	令和5年4月28日
	変更後	令和5年5月31日
	株式会社	スギタ建工

- 富士川町旧庁舎他解体工事請負変更契約

工期の変更	変更前	令和5年5月31日
	変更後	令和5年7月21日
	有限会社	荻原組



天井裏のアスベスト除去作業

5月30日(火)

議会視察

中央新幹線高架橋 (利根川公園交差部) 現地視察

町内の高架橋(約76m)が全線で初めて完成間近となったため、高さ約21m(建物7階相当)の高架部を視察。今後、鉄道のレールにあたる「ガイドウェイ」や「防音防災フード」が設置される。



議員全員での
高架橋視察

完成間近の高架橋上部

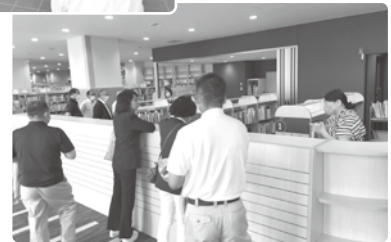


富士川町立図書館 視察

富士川町地方合同庁舎内1階に、「富士川町立図書館」が7月15日に開館する。その準備が進められている状況を視察。



開館間近の
町立図書館



整備が進む館内

一般質問

ズバリ!
聞きます!

一般質問通告一覧

1 小林 和良 議員

- 町の公文書管理の在り方について
- 町のBCP(業務継続計画)について

2 依田 誠司 議員

- 企業誘致について
- 若い世代の定住促進について

3 齊藤 欽也 議員

- 峡南医療センターへの繰出金の在り方について
- 富士川町奨学金制度について

4 深澤 一幸 議員

- シェアサイクル事業について

5 小林 有紀子 議員

- 带状疱疹ワクチン接種費用の助成について
- 防災対策強化について

6 宇田川 朱恵 議員

- 3歳未満児の保育について

7 秋山 仁 議員

- 子育て世代包括支援センターの運営について

動画はこちらから ▼▼

▶ YouTube



問 町の公文書管理は、「富士川町文書管理規定」によるが、保存年限見直しの必要性について。

財務課長 保存年限は重要な要素であるため、保存年限基準表に基づき30年、10年、5年、1年と定めており、文書廃棄は所定の保存期間経過後行う。永久保存の文書は、所管課長と財務課長が協議の上、保存期間を延長し保存することも可能である。現在運用している既定の範囲内の運用を継続していく。

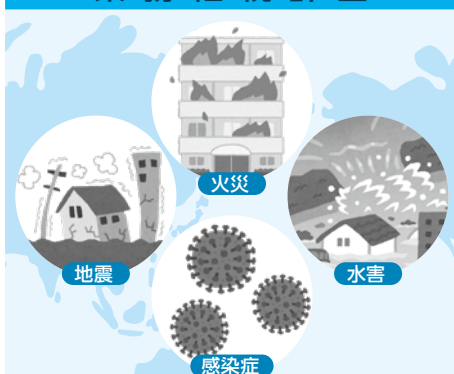


小林 和良 議員

BCP

Business Continuity Plan

業務継続計画



たとえ町が被災しても生き延びる!

BCPは町が生き延びるための重要な計画書

問 町のBCP(業務継続計画)について

財務課長 町のBCPは策定済であるが、新庁舎完成により、庁舎耐震化の強化や、非常

用電源による十分な電氣確保が図られ、現時点で改善が図られた項目もある。未設定項目の解消に向けBCPの見直しを行い、災害時における業務継続性の確保に務めて行く。

答

現在の運用の規定範囲で行う

問

町の公文書の在り方について

依田 誠司 議員



問 I-T関係企業誘致について

答 企業が進出しやすい環境を整える

問 I-T関係の企業誘致を考えているのか。
産業振興課長 I-T関係の企業は、新型コロナウイルス感染症の影響により、テレワークなどの新しい働き方が増え、地方へ拠点を移す企業が増加している。設備投資が比較的少なく、I-T関係の企業の企業誘致対策として、「サテライトオフィス支援事業費補助金」や「空き店舗バンク制度」などの支援策を整備している。今後もI-T関係の企業が進出しやすい環境を整えるため、空き店舗バンクの登録を増やすなど、誘致に取り組んでいく。

若い世代の定住促進について

問 現在、町では定住奨励金などの支援を行っているが、住宅取得に対して新たな支援措置を講ずる考えがあるのか。

政策秘書課長 移住定住の施策については、定住奨励金制度、空き家改修費補助、中山間地域等における住宅用地取得補助、東京圏から本町へ移住される方

への移住支援金補助制度を行っている。さらに、若い世代への定住促進対策として、結婚新生活支援補助制度などの、多くの移住定住施策を行っており、新たな制度の創出は考えていない。



町の現状に即した企業誘致を

齊藤 欽也 議員



問 峡南医療センターへの繰出金について

答 見直しは考えていない

問 峡南医療センターへの繰出金のありかたについて見直しは。

福祉保健課長 峡南医療センター企業団は、平成26年4月に発足し、今年で10年目を迎えた。発足以来マイナ

ス決算が続いたが、平成29年度以降については、経営改善や繰出金を見直してきた。これにより平成30年度以降はプラス決算が続いている。繰出金は総務省基準に基づき市川三郷町と十分な協議を行った上、令和4年度は3億6123万6千円を繰出している。繰

町の奨学金制度について

問 奨学金制度そのものを見直す必要があると思うが町の考えは。

教育総務課長

本町の奨学金制度については、高等学校、特別支援学校高等部の在学学生に対し、在学期間に、月額2万円を上限として貸付事業を実施している。しかし、国

出金のあり方については、現段階での見直しは考えていない。

や県の制度を優先して利用していることが多く、近年は町の奨学金制度を利用していない状況にある。今後は、貸付や償還方法等についても、利用しやすい方法を研究する。



黒字決算が続いている峡南医療センター



問 シェアサイクル利用状況について

答 峡南5町で協議し、利用促進に努める

問 3月22日からサービスを開始したが、利用状況についての考えは。

があった。

産業振興課長 シェアサイクル事業の利用状況については、利用回数や平均利用時間などを集計し、翌月中旬に報告書が提出される。

報告の最新のデータは、4月末までの実績となり、町内に2つあるステーションのうち、道の駅富士川ステーションでは、貸出が6件、返却が7件、また鯉沢商店街ステーションでは、貸出が2件、返却が2件の実績報告

サービス開始からの期間が短く利用状況の統計が取れていないことから、今後、実績や課題が示された中で、峡南5町で協議を行い、利用促進に努める。

問 峡南5町の事業だが、それぞれに地域性がある。本町の特徴を活かした事業ができるのか。

産業振興課長 峡南5町の周遊が目的であるシェアサイクル事業については、町内の観光スポットへの移動にも利用していただきたい。



シェアサイクルで観光地めぐりを

すでに、道の駅富士川を拠点とした巻米の棚田や甲府盆地の絶景ポイントなどが含まれた、おすすめスポットを巡るサイクリングマップなどを作成している。これらのマップを活用していただくことで、シェアサイクルを使用した町内観光にもつなげていきたい。



問 带状疱疹ワクチンの助成について

答 接種費用の助成は考えていない

問 带状疱疹の発症率の低下や重症化の予防のため、ワクチン接種費用の助成は。

予防接種となっている現時点では、接種費用の助成については考えていない。

福祉保健課長 带状疱疹ワクチンについては、国の審議会において、予防接種法に基づき定期接種として導入する場合の、最適な対象年齢や期待される効果、安全性、費用対効果等についての検討が慎重に行われている。

防災対策強化について

問 地域防災リーダー養成講座を開催し、自主防災組織の強化を図る考えは。

頃の開催に向け準備を進めている。また、この講座の修了者は、富士川町地域防災リーダー名簿に登録し、自主組織の強化のために活躍していただくことを考えている。

また、町における公的な接種の推進については、国の動向を踏まえて検討すべきと考える。十分な安全性の確認がとれていない任意

防災交通課長 地域防災リーダー養成講座については、昨年までコロナウイルス感染症の影響で開催できなかったが、本年度は秋



親子で学ぶ防災教室

宇田川 朱恵 議員



問 3歳未満児の保育について

答 保育ニーズに対応し
実施している

問 保育需要がますます高まると考えるが対応は。

子育て支援課長 保育所に求める役割は、子どもより良い成長と安心して保護者が働ける環境づくりである。年齢ごとの定員の見直しや保育士の適正配置に努め、3歳未満児の保育ニーズに対応できるように実施してきた。今後も保育環境の充実に取り組む。

問 家庭で子どもをみる世帯に子育て応援金の支援の考えは。

子育て支援課長 子育てをする世帯にとって、希望する保育所に入所できる環境を整えることは重要である。

く考え、子どもを保育所などに預けず、家庭で子育てを行う世帯への経済的支援も、今後検討する。

今年度は、保育所再編に伴い保育士を重点配置し、3歳未満児の定員を拡大し、保育料の無償化を実施した。

子育て世帯全体の支援を幅広く



0歳児保育を行っている第1保育所

秋山 仁 議員



問 子育て世代
包括支援センターの運営は

答 ニーズが反映された
サービス提供が可能

問 子育て支援の拠点として運営しているが、市民の身近なニーズが反映されているか。

子育て支援課長 子育て支援拠点として位置づけた「富士川町児童センター」では、2つの異なる支援形態の連携によって、妊娠期からその後の子育て期までを安心して過ごせるよう、切れ目のない支援の充実に図っている。まず、保育士との対話の中で、乳幼児期の子どもの成長発達や、育児環境の不安などの相談を行っている。

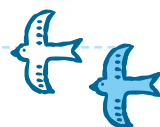
る。次に、妊娠期から専門的な見地によって相談支援を行う保健師などとの関わりは、健診などの様々な場面を通じ、個別のニーズや課題の把握を行い、育児不安の解消に努めている。子育て相談やニーズが変化し、多様化する中においても、ニーズが反映されたサービス提供が可能となっている。



「切れ目のない支援」を実施している児童センター

議会だよりに皆さまの声を!

議会広報モニター 8 人を委嘱



委嘱期間は議会だより 56 号 (令和 6 年 3 月議会) までとなります。

モニターの皆さまには読みやすくわかりやすい議会だよりになるよう、ご意見をいただきます。
1 年間よろしくお願いいたします。



安岡 桃子さん



清野 喜久雄さん



柳 朝子さん



深澤 典子さん



志村 由希美さん



佐野 綾子さん

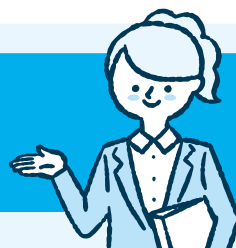


深澤 和彦さん



山本 泉さん

富士川CATVによる議会の放映を ご覧ください



定例会の議長あいさつ、町長所信表明および一般質問の様子は定例会開催月の下旬から富士川CATV (11ch) でご覧いただけます。

日程は、富士川CATV番組内の「富士川町からのお知らせ」および町のホームページの「富士川町からのお知らせ」をご覧ください。
なお、放映終了後に町のホームページにおいても視聴することができます。

スマートフォンは
こちらから



ホームページ掲載場所

富士川町ホームページ
(トップ)

▼
町政情報

▼
町議会

▼
一般質問(録画)

わが町の名所めぐり

町内のかくれた名所を散策してみませんか？

悲しい天神ヶ滝「水難供養塔」と「手まり唄」

日本三大急流の1つである「富士川」。慶長12年(1607年)に徳川家康の命を受けた京都の豪商・角倉了以により、暴れ川と名高い富士川の開削が行われ、舟運の歴史が開かれた。

鰍沢から静岡の岩淵までの18里(約71km)は徒歩で丸二日かかっていたが、通船後は、なんと6時間に短縮。年貢米を馬1頭で米俵2俵しか運べなかったところを、高瀬舟一艘で米俵32俵も運ぶことが可能に。舟運によって鰍沢は甲斐国の経済の中心として栄えた。

そして富士川舟運は、江戸から明治にかけて身延山詣での人々の足としても利用され観光名物に。しかし富士川下り第一の難所「天神ヶ滝」では、多くの舟が遭難。船頭たちが恐れる命がけの超難所であった。

江戸末期、身延詣での途中で遭難した、荊沢(南アルプス市)港屋の姉妹のことを唄った「手まり唄」(「～ここは危ない天神ヶ滝よ いうと間もなくお舟がわれて 南無妙法蓮華経と手を合わす～」)として伝えられている。箱原にひっそりと建つ「水難供養塔」。その「天神ヶ滝」の悲しい水難の歴史へ想いを馳せてみては。



水難供養塔(箱原地内)

「天神ヶ滝」の難船場普請工事の絵馬

文化13年(1816年)12月から翌2月まで行われた富士川第一の難所といわれた「天神ヶ滝」の大改修。鰍沢河岸を見下ろす場所に建つ七面堂には、江戸時代の改修工事の様子を描いた、全国的にも大変に貴重な絵馬が、奉納されている。

天神ヶ滝は川中に大きく突き出た岩場にあたる「うなぎ淵」と川瀬に隠れた「人食い岩」からなる。普請工事により、岩のほとんどが削られたが、あの葛飾北斎が浮世絵に描いた「富嶽三十六景」の、『甲州石班澤』は、当時の富士川「天神ヶ滝」をイメージして描いたのであろうか。(諸説あるが)

七面堂の絵馬は、現在、「富士川町歴史文化館 塩の華」に展示されている。三河岸および地元の人々のべ4万人が動員され、金苞千両の一大プロジェクトだったとは、今では想像もつかないほどの驚きだ。



天神ヶ滝普請工事絵馬(歴史文化館 塩の華内展示)



鹿島橋から望む天神ヶ滝